

環境報告書2013

東港金属株式会社

ごあいさつ

循環資源の高度利用と資源確保に向けて

代表取締役 福田 隆



2013ジャパンカップサイクルロードレース
(宇都宮)にて

ステップバイステップで

昨年創業110周年を迎えることができました当社は、次の100年に向けて一步を踏みだしました。

お陰様でこの1年は収益面でも昨年を上回る実績を上げることができました。これは全て、お客様をはじめステークホルダーの皆様方による温かいご理解とご協力があったからこそのもので、心より感謝申し上げます。

当社は優良産業廃棄物処理業者として認定をいただいていることへの責任と誇りを持ち、循環型社会形成に向けた都市型総合リサイクラーとして、それぞれの持ち場で社の環境方針に則った活動を推進しております。

一般家庭でも物を捨てるにはルールがありますように、産業廃棄物にも不法投棄を防ぐために、厳しい規則があります。しかし規則の周知度が低いのが現状です。当社は排出事業者様の身近なリサイクルパートナーとして、お客様に規則等の知識を高めて頂くことも業務の一つととらえ、契約書やマニフェストに関する実務のご説明を続けており、今後も地道に活動してまいります。

循環資源の高度利用と資源確保を目指して

本年5月31日に、我が国の廃棄物・リサイクル対策の今後の方向性を示す、第三次循環型社会形成推進基本計画が閣議決定されました。

この基本計画では、今後3Rの中の「2R（リユース・リデュース）の推進」を制度的に位置付ける検討が始まるようです。それと共に、新たな政策的柱として「循環資源の高度利用と資源確保」があげられています。これまでの間に世界全体で採掘した資源の量（地上資源）と現時点で確認されている今後採掘可能な鉱山の埋蔵量（地下資源）を比較すると、既に金や銀については、地上資源の方が多くなっていると推計されており、いまや途上国の経済発展の目覚ましさを思うとき、今後さらに需要が伸びることは明らかで、世界的にも地上金属資源をより一層活用していく必要性が高まってきているとしています。

顧みますと、当社先々代の社長は1958年（昭和33年）に冊子「非鉄スクラップ読本」を上梓しておりますが、その改訂にあたっての自序で、「今後何年かかるかは別として、究極的には地下資源は全部掘り尽くされて零となり、地上のスクラップのみが回転再生されるという時代も何れかは来るに違いない。（中略）これらのスクラップが十分な知識のもとに分類選別されて、それらの分野に投入されれば、我が国経済の発展に資するところは大きく、また一面から考えれば、輸入依存度も低くなり、外貨節約ともなるわけである。（後略）」と書いております。

まさに、「循環資源の高度利用と資源確保」という、今回の基本政策的柱の1本を提唱しているのです。これを読むとき、半世紀以上も前から、資源の乏しい我が国の先を見据えて、原料の有効活用を説いている先人の明に驚き、その志を受け継ぐ者としての責任を感じます。

そして今、社業である非鉄スクラップ、産業廃棄物の中間処理業の責任を果たすことで、地上金属資源をより一層活用できることを喜びとして、今後も資源受け入れ量の拡大を当社の環境方針の重点テーマの一つとして進めて参ります。

2020年東京オリンピックに向けて

2020年のオリンピックが東京開催と決まり、産業界は期待と抱負で活気を帯びてきています。当社は現在、人力の素晴らしさを感じさせてくれる自転車競技を低炭素社会にふさわしいものと賛同し、日本自転車競技連盟（JCF）を応援しているところです。同じように、本質的に動作が機械的な推進力に依存する競技は受け入れられないというオリンピックは、まさに地球上で人が行う最高のパフォーマンスであり、アスリートの奮闘に観戦者は心を躍らせるでしょう。

成熟した日本では、50年前の東京オリンピック開催に向かって進んだような、劇的なインフラ整備の変化とはならないと思いますが、次世代に残す新しい東京地図を作り上げるには、循環資源を活用し、エコに徹した開催となることと思いますが、当社も様々な形で、できる限りの協力・応援を行ってまいります。

経営理念

お客様のお役に立つ、世界最高のリサイクルを追求し、お客様と共に会社・従業員が発展繁栄する。

すぐやる
【情熱・熱意・執念】で 必ずやる
出来るまでやる

すなわち「熱い気持ちで仕事に打ち込み、目標達成までやりとげる」ことを基本として、何事も「すぐやる、必ずやる、出来るまでやる」という実践をしていきます

目次

ごあいさつ	1
目次・編集方針	2
東港金属株式会社について	3
環境方針	7
事業活動における環境負荷の全体像	8
マネジメント体制	11
リサイクルフロー	14
教育・コミュニケーション	15
環境への取り組み	17
協力会社の紹介	19
法のおよびその他の要求事項	21
環境会計	21
ガイドライン対照表	22

◆編集方針

東港金属株式会社は、当社の環境に関する考え方と取組姿勢を中心とした業務内容そのままを、定期的に報告することにより、ステークホルダーの皆様の良きリサイクルパートナーとして、事業活動の透明性、信頼性を評価、ご理解いただきたく、環境報告書を作成いたしております。お気づきになりましたことなど、ご指摘ご指導賜りたくお願い申し上げます。

◆環境報告書対象組織・期間

●対象組織

この環境報告書のデータ部分は、東港金属株式会社（本社・本社工場、千葉工場、東京事務所、天童支店）と、協力会社トライマテリアル株式会社 本社営業所を範囲としました。

●対象期間

当社の第68期（2012年7月～2013年6月）をまとめたものです。
但し、報告内容には一部第69期の内容を含みます。

◆準拠、参考ガイドライン

この環境報告書は、環境省「環境報告書ガイドライン（2012年版）」を参考にして作成いたしました。

◆発行2013年12月

【お問い合わせ先】

東港金属株式会社 経営企画室

〒140-0013 東京都品川区南大井6-17-17 FINEビル2F

TEL:03-5767-8860(代) FAX:03-5767-8870 ホームページ <http://www.tokometal.co.jp/>

当社では、2007年より【環境報告書】を作成しております。
今までの環境報告書は、当社のホームページからご覧になれます。

東港金属株式会社について

■会社概要

社名 東港金属株式会社 Toko Metal co.,Ltd.
 代表者 代表取締役社長 福田 隆
 創業 1902年(明治35年)7月
 資本金 1億円
 従業員数 108名(2013年6月現在)
 年商 70億円(2013年6月期)
 事業所 本社、本社工場、千葉工場、東京事務所、
 天童支店
 協力会社 トライマテリアル株式会社
 トライメタルズ株式会社
 東北トライメタルズ株式会社

■事業概要

- ◆金属スクラップ全般に関する業務(国内/輸出入)
- ◆プラスチックの各種リサイクル
- ◆産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業、リサイクル
- ◆その他

■売上・受入れ量・リサイクル率の実績



旧リサイクル率: 受入れ量に対して、東港金属の工場から直接埋立処分場に搬送しなかった量の率(100%-東港金属からの直接埋立率)であり、搬送先(二次処理先)の埋立率は考慮していない。

新リサイクル率: 受入れ量に対して、東港金属の工場から搬送した先(二次処理先)の埋立率を考慮して求めた率。

$$1 - \frac{(\text{直接埋立処分場への搬送量}) + (\text{二次処理先への搬送量}) \times (\text{二次処理先埋立率})}{\text{受入れ量}}$$

■事業所ロケーション

天童支店
 〒994-0016
 山形県天童市東久野本 3-2-32
 TEL: 023-654-3358 (代)
 FAX: 023-653-4770



金属製品販売サイト

東京事業所
 〒140-0013
 東京都品川区南大井 6-17-17
 FINE ビル 2F
 TEL: 03-5767-8860 (代)
 FAX: 03-5767-8870
 営業部門サイト



本社 / 本社工場
 〒143-0003
 東京都大田区京浜島 2-20-4
 TEL: 03-3790-1751 (代)
 FAX: 03-3790-1755



本社機能と都内立地の条件を活かした小回りの利くリサイクルプラント

千葉工場
 〒293-0011
 千葉県富津市新富 52-1
 TEL: 0439-80-4545 (代)
 FAX: 0439-80-4646



1千馬力のシュレッダーを導入した大型処理プラント

沿革

1902年(明治35年)	創業者福田勝西が東京市神田に伸銅品と非鉄金属の間屋を開業
1947年(昭和22年)	会社組織として港区芝にて、製品の間屋業を株式会社福田地銅店が扱い、地金の間屋業を東港金属が扱うことになる
1978年(昭和53年)	大田区京浜島に移転
1994年(平成6年)	電線リサイクル処理(ナゲット)プラントを導入、本社工場に設置 産業廃棄物収集運搬業の許可を取得 産業廃棄物中間処理業の許可を取得(切断・破砕)
1997年(平成9年)	銅合金の精錬及びインゴット製造を行う系列会社の東京銅基合金株式会社を吸収合併する
2001年(平成13年)	家電リサイクル法に基づき指定引取場所となる
2002年(平成14年)	東京都とエコトライ協定を締結
2003年(平成15年)	家電リサイクル指定引取場所及びスクラップ取り扱い増を目的とした本社第二ヤードを開設
2006年(平成18年)	本社および京浜島工場で、環境マネジメントシステム(ISO14001)認証取得
2007年(平成19年)	東京都港区芝に東京事務所を開設し、営業部門及び事務部門の一部を移転 千葉県富津市に千葉工場を開設
2008年(平成20年)	本社第三ヤードを開設
2009年(平成21年)	千葉工場が産業廃棄物中間処理業の許可取得 本社・本社工場、千葉工場、東京事務所で、情報セキュリティマネジメントシステム(ISO27001)を認証取得 千葉工場をISO14001認証範囲に拡大登録
2010年(平成22年)	東京都 産廃エキスパート取得 本社事務所を新事務棟に移転 非鉄金属製品の加工販売を行う株式会社メタルポート天童支店を譲り受け、東港金属天童支店として開設 本社工場に産廃選別ライン導入 家電リサイクル法の指定引取場所を閉鎖
2011年(平成23年)	東京都 産廃エキスパート認定更新
2012年(平成24年)	産業廃棄物収集運搬業の優良確認認定(福島県以外で収運許可を保有する県) 東京都で産業廃棄物処分量の優良確認認定 創業110周年を迎える 東京都品川区南大井に東京事業所移転 本社第四ヤード開設

許可・認定

- ◆古物商
- ◆優良認定・産業廃棄物中間処理業許可；
東京都
- ◆産業廃棄物中間処理業許可；
千葉県
- ◆優良認定・産業廃棄物収集運搬業許可；
東京都(積替・保管を含む)、神奈川県、埼玉県、千葉県、静岡県、栃木県、栃木県、岩手県
- ◆産業廃棄物収集運搬業許可；
福島県
- ◆東京都 産廃エキスパート認定(中間処理及び収集運搬業)
- ◆第1種フロン類回収登録
- ◆ISO27001認証
本社・本社工場、千葉工場、東京事務所
- ◆ISO14001認証
本社・本社工場、千葉工場、東京事務所
トライマテリアル株式会社 本社営業所

産業廃棄物収集運搬業許可品目一覧(トライマテリアルを含む)

平成25年6月30日現在

取得政令都市	産業廃棄物													特別管理産業廃棄物						
	汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	及び陶磁器くず	ガラスくず、コンクリートくず	がれき類	廃酸PH2.0以下	廃アルカリPH12.5以上	廃石綿等	灯油類及び軽油類に限る)	廃油(揮発油類、)	
東京都	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○			
神奈川県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			○
千葉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○			
埼玉県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			
群馬県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			
静岡県					○	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○			
栃木県		○			○	○	○	○			○		○	○	○	○	○			
茨城県		○			○		○				○		○	○	○	○	○			
長野県	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○		○	○	○	○	○			
福島県	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○			
岩手県					○	○	○	○			○		○	○	○	○	○			

注)「廃棄物の処理および清掃に関する法律施行令」が改正され、産業廃棄物収集運搬業(積換えなし)及び特別管理産業廃棄物収集運搬業(積換えなし)の許可が合理化され、これまでは(特別管理)産業廃棄物の収集運搬については、積卸しを行う全ての都道府県又は政令市の許可を受けなければなりませんでしたが、平成23年4月1日より原則として、一の政令市を越えて収集運搬を行う場合は、都道府県の許可のみで当該都道府県内全域で収集運搬を行なうことができるようになりました。

東港金属株式会社 産業廃棄物処分業許可一覧

平成25年6月30日現在

取得政令都市	許可番号	許可品目																		
		汚泥	廃油	廃酸	廃アルカリ	廃プラスチック類	紙くず	木くず	繊維くず	動植物性残渣	ゴムくず	金属くず	及び陶磁器くず	コンクリートくず	ガラスくず、	がれき類				
東京都	13-20-018874					○	○	○	○			○		○						
千葉県	1220018874					○	○	○	○			○		○						○

当許可証は「産廃情報ネット」からご覧下さい。 当社のホームページからもアクセスできます。

処理業者認定制度

環境先進企業として一段上の処理基準をクリアしたとして認定を受けました。
これらの制度の趣旨を真摯に受け止めて、排出事業者の皆様から信頼されるリサイクルパートナーとしての努力を続けて参ります。

優良産廃処理業者認定制度

東京都：中間処理業、収集運搬業共に優良確認の認定を取得しました。
千葉県、神奈川県、埼玉県、静岡県、栃木県、茨城県、岩手県：
収集業の優良確認の認定を取得しました。

優良産廃処理業者認定制度とは

通常の許可基準よりも厳しい基準をクリアした優良な産廃処理業者を、廃棄物処理法の規定により、都道府県・政令市が審査して認定する制度です。

平成22年度の廃棄物処理法改正に基づいて創設された制度で、改正法の施行日である平成23年4月1日より運用開始となりました。産業廃棄物処理業の実施に関し、優れた能力及び実績を有する者の基準（以下の優良基準）に適合することが必要となっています。

- ※ 実績と遵法性
(5年以上の産業廃棄物処理業実績。遵法性の高い処理業者。)
- ※ 事業の透明性
(インターネットで会社情報を広く公表、事業の透明性を確保している。)
- ※ 環境配慮の取組
(ISO14001やエコアクション21等の認証を取得、環境配慮の事業推進)
- ※ 電子マニフェスト利用
- ※ 財務体質の健全性
(健全な財務体質を有し、安定的に事業を行っている。)



東京都での
中間処理業優良確認認定

産廃エキスパート(東京都の第三者評価制度)

産廃エキスパートの継続適合認定を取得しました。

産廃エキスパート(東京都の第三者評価制度)とは

産業廃棄物処理業者の事業内容や取組の状況に対応し、次の通り2ランクの基準に適合した業者を認定する制度です。

- 1) 産廃エキスパート(業界のトップランナー的業者)
- 2) 産廃プロフェッショナル(業界の中核的役割を担う優良業者)

評価は、主に次の項目について、第三者評価機関の(公財)東京都環境公社が評価基準を定めており、処理事業の信頼度の高さ、環境に配慮したより高度な取組等を総合的に判断します。

- ア 遵法性 イ 安定性 ウ 先進的な取組



中間処分別業 産廃エキスパート認定証



収集運搬業 産廃エキスパート認定証

環境方針

東港金属株式会社は、資源循環型社会の一翼を担う金属加工処理ならびに産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等事業を通じて環境負荷の少ないリサイクルに正面から取り組み、社会に貢献できうる企業を目指し、従業員が一丸となり環境保全を実施し、地球環境保全のために尽くします。

1. 当社の事業活動、製品及びサービスに係る環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるとともに環境マネジメントシステムの継続的改善を図ります。
2. 当社の環境側面に関係して環境保全水準の向上を図るために法的要求事項及び自主基準を設け、決めた要求事項を順守します。
3. 当社が行う事業活動、製品及びサービスが環境に与える影響の中で、以下の項目について重点テーマとして改善活動を推進します。

重点テーマ

- (1) 取扱商品の入荷量を拡大し、当社より排出する産業廃棄物の削減を図り、天然資源の枯渇の抑制に貢献するとともに、最終処分量の削減に努めます。
- (2) 千葉工場のシュレッダー業務の効率化を図り、処理量拡大を図ります。
- (3) 各種車輛、重機などに使用する燃料の削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇の抑制に努めます。
- (4) 工場内のプラント設備、事務所の照明・空調等に使用する電力使用量の削減を図り、地球温暖化と化石燃料資源の枯渇抑制に努めます。
- (5) 資源の有効活用のため、コピー用紙使用量の削減に努めます。

2012年7月1日

東港金属株式会社

代表取締役 福田 隆

バリューチェーンにおける環境配慮等の取組み

当社の事業活動におけるバリューチェーンに係る全ての環境に対する影響を把握し、その中で環境負荷の大きなものを環境方針の重点テーマとして改善を図っております。

当社のバリューチェーン

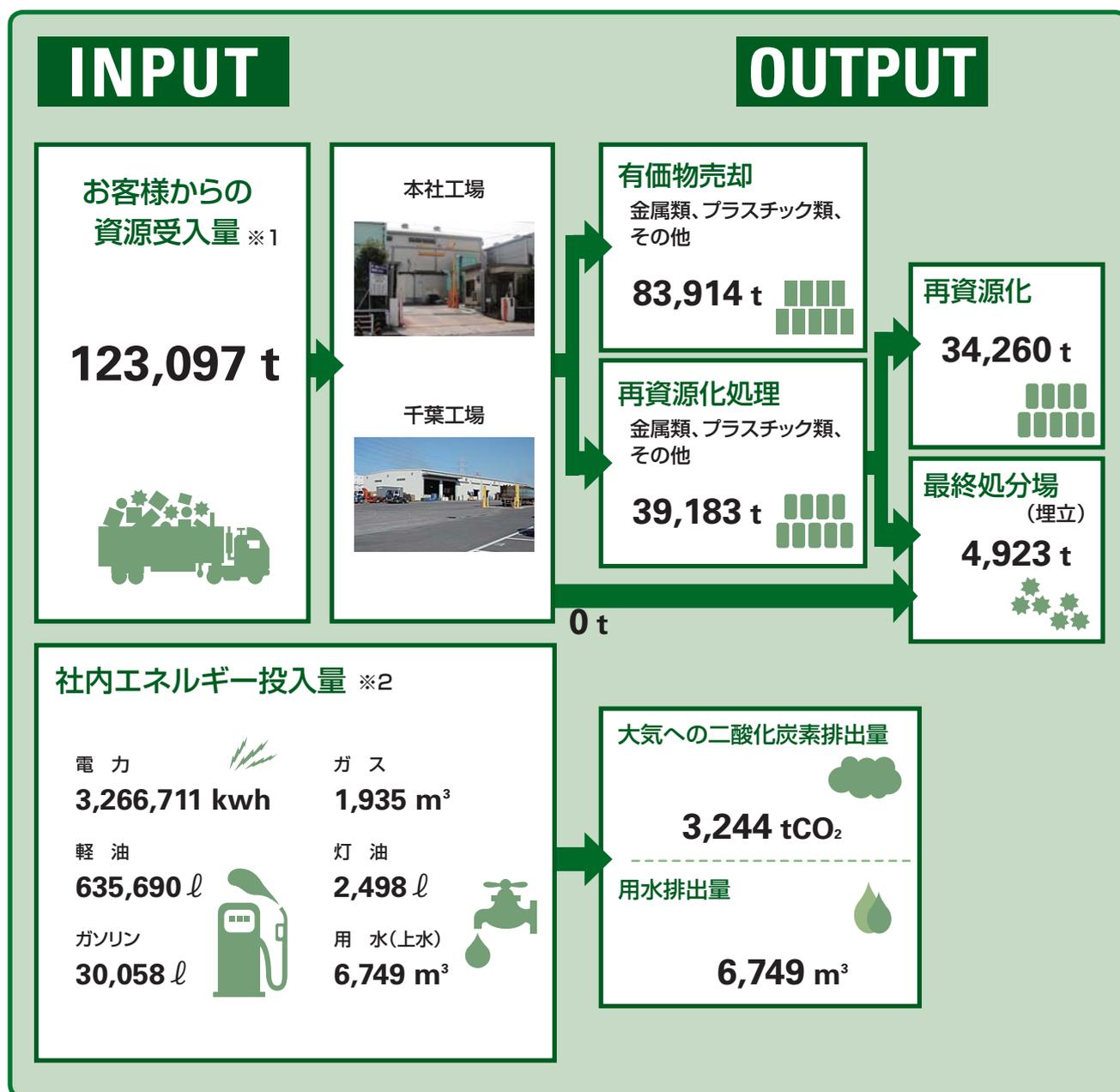


事業活動における環境負荷の全体像

マテリアルバランス報告

当社事業においては、常に資源のリサイクル率や、再資源化の向上を図るための活動を行いますが、一方、活動における環境負荷として、電力や燃料などの各種エネルギーの消費に伴う温室効果ガスの排出があります。作業効率の向上や工程改善をすることで、環境影響を低減させる努力を続けて参ります。

第 68 期（2012 年 7 月～ 2013 年 6 月）の主な環境負荷は以下の通りです。



二酸化炭素排出量計算根拠：

温室効果ガス排出量算定・報告マニュアル Ver3.4（平成 25 年 5 月 環境省・経済産業省発行）より CO₂ 排出量（tCO₂）算出計算式を用いました。

但し、電力については環境省のホームページ「温室効果ガス排出量算定・報告・公表制度」から 平成 25 年 7 月 25 日一部追加・修正の「電気事業者別の CO₂ 排出係数（2011 年度実績）（平成 24 年 11 月 6 日公表）」を採用しました。

用水については東京都環境局の「地球温暖化対策報告書制度」で使用されている排出係数を採用しました。

※1 資源受入量は、本社工場と千葉工場への新規受入量の合計です。

※2 社内エネルギー投入量は、ISO14001 適用範囲である協会社トリアテリアル株式会社の投入量を含みます。

中期環境保全計画

当社は、事業活動、製品、及びサービスが環境に与える影響の中で、重点テーマである省エネ・省資源、効率向上化の達成すべき目標を環境保全計画として設定しております。

このページではISO14001の適用範囲（本社、本社工場、千葉工場、東京事務所及びトライマテリアル株式会社本社営業所）の68期環境目標・年度環境実行計画に基づくデータを掲載いたしました。

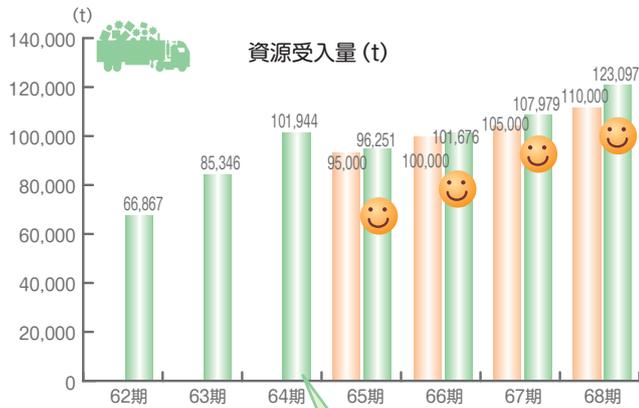
68期は全項目で目標を達成しました。

部門	68期目標			結果数値	達成度
	推進項目	施策	期末目標		
本社 本社工場 千葉工場 東京事務所	資源受入量の拡大	(1)営業力の強化(人員補強) (2)仕入先の拡大(顧客拡大)	110,000t/年の達成	123,097t/年	対目標値よりも更に1.9%の拡大達成
	コピー用紙使用量削減 コピー用紙使用量原単位= コピー用紙購入枚数(枚)/ [本社・製品入出荷量(千t)+千葉工場製品入出荷量(千t)]	(1)裏紙の使用徹底 (2)不要資料の作成削減 (3)配布資料及び配布先の適正化 (4)メール・電子化の推進 (5)棚卸し不要資料の活用	1,625枚/千tの達成	1,569枚/千t	対目標値よりも更に3.4%の削減達成
本社工場・ トライマテリアル(株)	燃料使用量削減(運搬車輛) 燃料使用量原単位= 燃料使用量(ℓ)/本社・製品入出荷量(千t)	(1)アイドリングストップの励行 (2)アクセルの吹かし過ぎ防止 (3)急発進の防止 (4)効率的な積み降ろし・運搬 (5)オイル等の定期的交換、車輛整備	1,020ℓ/千tの達成	989ℓ/千t	対目標値よりも更に3.1%の削減達成
	燃料使用量削減(重機車輛) 燃料使用量原単位= 燃料使用量(ℓ)/本社・製品入出荷量(千t)	(1)アイドリングストップの励行 (2)アクセルの吹かし過ぎ防止 (3)急発進の防止 (4)効率的な積み降ろし・運搬 (5)オイル等の定期的交換、車輛整備	1,323ℓ/千tの達成	1,249ℓ/千t	対目標値よりも更に5.5%の削減達成
千 葉 工 場	電力使用料の削減 電力使用量原単位= 電力使用量(Kwh)/シュレッダー投入量(t)	(1)ライン設備トラブルでの 停止時間削減 (2)定期的メンテナンスの実施	49.0kwh/tの達成	44.9kwh/t	対目標値よりも更に8.4%の削減達成
	シュレッダー処理量の拡大 (シュレッダー業務の効率化)	(1)二次集塵機の導入による シュレッダーの稼働率アップ	平均停止時間 40H/月以下	37.7H/月	対目標値よりも更に5.8%の 停止時間低減 達成
		(2)プレシュレッダーの導入・稼働	設置許可取得申請	計画通り進捗中	
シュレッダーダストの有償売却化	シュレッダーダストのフォーミング材料化による有償売却化	フォーミング材生産設備 調査	計画通り進捗中		

主な推進項目の予実績及びエネルギー投入量実績の推移

目標達成 😊 目標  実績 

主な推進項目の予実績

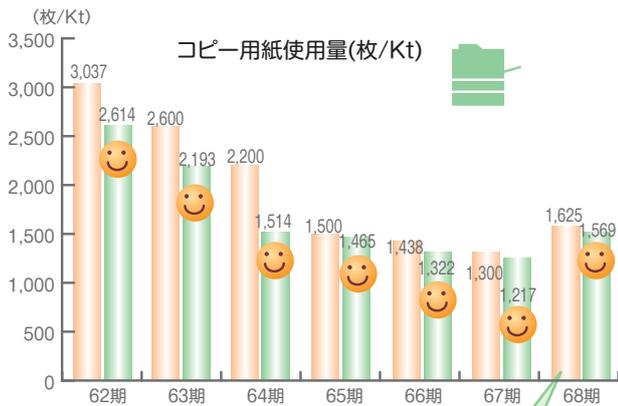


64期までは産業廃棄物を除く受入品目で目標量を設定していたが、65期からは産業廃棄物も含む全品目の総受入量で目標を設定した。このグラフは全品目の総受入量を表示している。

主なエネルギー投入量の実績 (全社)



66期は破砕機のリニューアル及び天童支店が加わり電力使用量は増加した。その後は受入量の増加等に伴い増加傾向にあります。



東京事務所を対象範囲に拡大



66期は天童支店が加わり車両用の軽油使用量が増加した。その後は受入量の増加等に伴い増加傾向にあります。

従来、主な推進項目として「リサイクル率の推移」を記載しておりましたが、本紙では、3頁の「売上・受入量・リサイクル率の実績」参照ください。



64期は千葉工場の稼働開始により急激に増加した。その後は受入量の増加に伴い増加傾向にあります。

マネジメント体制

環境マネジメント体制

—[ISO14001]に基づき、計画的な改善活動を進めています—

当社は、企業としての事業活動が環境に及ぼす影響を最小限に食い止め、改善に取り組むために、社長をトップとした環境マネジメントシステム ISO14001 の認証を取得しております。

Plan-Do-Check-Act により事業活動と関連する環境法規を明確にして、確実な順守に努めており、継続的な改善を目指しております。



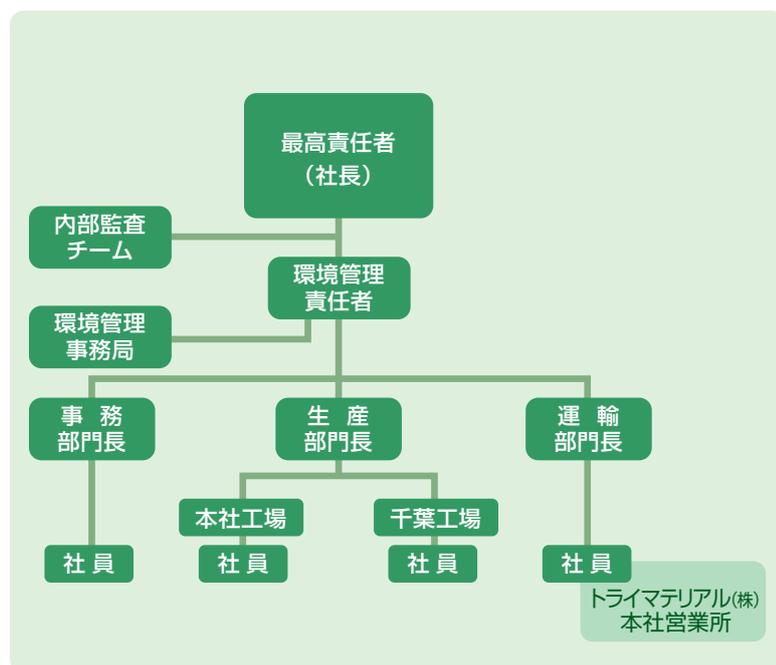
■ 認証範囲

東港金属 株式会社
 本社 事務所
 第一ヤード
 第二ヤード
 第三ヤード

千葉工場
 東京事務所

トライマテリアル 株式会社
 本社営業所

推進体制



継続的改善

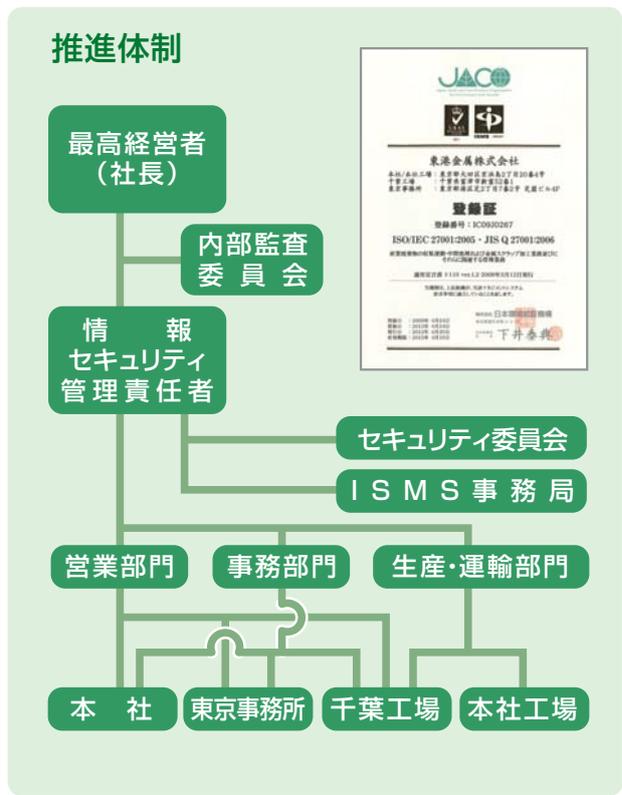
環境の継続的改善を目指して 2006 年 6 月に認定取得した ISO14001 は 7 年を経過しました。その環境方針に基づく行動指針を社員一人一人が常に認識し、事業活動、製品及びサービスに係る環境側面の継続的改善を図るとともに、適用可能な法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他要求事項を順守するために自主基準を設け、管理し、環境保全水準の向上を図ってまいります。

情報セキュリティマネジメント体制

ネット社会となり、僅かなミスによる情報漏えいが大きな被害に発展する危険性を抱えている状況下で、情報セキュリティの必要性がますます重要となっております。当社は、2009年4月に「情報セキュリティマネジメントシステム」ISO27001の認証取得をいたしております。

当社は「個人情報の保護に関する法律(個人情報保護法)」に対応し、顧客情報・顧客資産・従業員個人情報保護の責務を果たし、お客様の利益と社会全体の情報セキュリティを推進することが、重要な顧客サービスであると考え、情報セキュリティマネジメント体制を整え、定期的に当社が保有する全ての情報資産をリスク評価し、そのリスクに応じて、対策を実行しております。

お客様がかけがいのないパートナーとして、安心して当社をご利用いただけるよう、社員一人ひとりの意識向上を図るために、マネジメントシステムの構築、維持のPlan-Do-Check-Actのプロセスを通じて、入社時研修をはじめ、定期的に意識の浸透を図り、推進してまいります。



情報セキュリティ基本方針

1. 目的と活動の原則

東港金属株式会社は、金属加工処理業ならびに産業廃棄物の収集運搬及び中間処理業等の事業を進めていく上で、顧客情報や処理を受託した機器の記録部の中に含まれている情報等の重要情報を保有している。

一方、事業の拡大に伴う本社事務所とヤード、他事業所、事務所等との情報伝達経路の多様化により、情報の漏洩、改ざん、センター機器や情報伝達経路の不具合による事業活動の遅滞や停止等の潜在的なリスクを有している。

情報セキュリティマネジメントシステム（以下ISMS）規格に準拠するISMSの構築、維持のPDCAプロセスを通じて、これらのリスクに対応する仕組みを確立することが当社の重要な顧客サービスとなることを認識し、従業員が一人となりISMSを実施し、顧客及び当社の継続的な事業発展のために、ここに情報セキュリティ基本方針を制定する。

2. 法令・規程・規則

顧客情報・顧客資産・従業員個人情報の保護の責務を果たすため法的要求事項、及び自主的に受入を決めたその他の要求事項を順守、管理する。

3. ISMS 組織体制の確立

事業の変化とそれに伴うリスクの変化に対して適切に対処するために、情報セキュリティ管理責任者を任命し、その下にセキュリティ委員会とISMS事務局を設ける。

また、ISMSのPDCAプロセスが適切に機能していることを評価する内部監査組織を設置する。

情報セキュリティ管理責任者とISMS事務局は、当社のISMS全般に亘る管理、運営を行う。

4. リスクへの対応

顧客情報と会計販売情報の機密性を最重要視する。これら情報の漏洩は当社の信頼性を著しく損ない、悪用されれば当社の事業継続に重大な影響を及ぼすと考えられる。

また、これら情報が集積しているサーバとその伝達経路の不具合は、業務遂行上の重大なリスクであり、完全性と可用性を考慮する。

なお、リスクマネジメントは、客観的に体系化され、重要なリスクを有効に見出す仕組みとして、継続的に見直しを行なえるものとする。

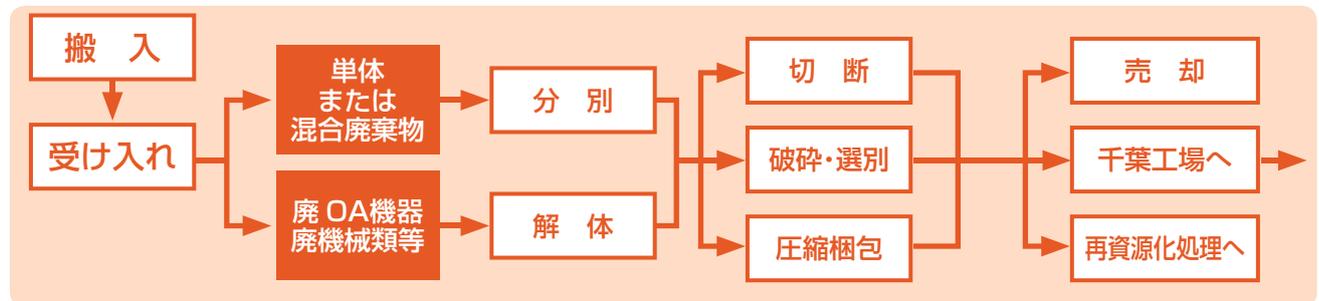
2008年12月1日
東港金属株式会社
代表取締役 福田 隆

リサイクルフロー

本社工場リサイクルフロー

多品目の取り扱いと徹底した選別で、出来る限り資源として循環することを目指しております。

本社工場



搬入／受け入れ

廃棄物、混合物、有価金属などを、種類別・マテリアル別にわけることなく、窓口ひとつでの受入が可能です。



平ボディー車



台貫

分別／解体

大型廃棄物から鉄、非鉄、プラスチックまで分解・選別することができるマルチ解体機や、大型磁力選別機と手作業により徹底した分解、仕分けを行います。



マルチ解体機での解体



パソコン/OA機器の手解体

切断／破碎

破碎機や最新鋭高速切断機(ギロチンシャー)の導入をはじめ、天井クレーンを使用し、作業効率と処理スピードの向上を実現しております。



破碎機



ギロチンシャー

選別

比重の違いを利用した振動型選別機と2系列の手選別コンベアラインにより、高精度の選別を行います。



選別機

圧縮／梱包

鉄、ステンレス、銅、アルミ、プラスチック、基板、その他をそれぞれ圧縮梱包していきます。



ベラー



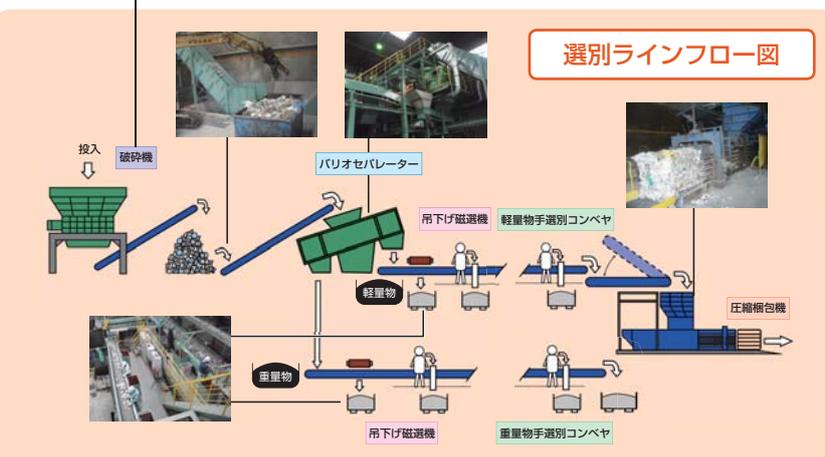
プレス機



再生プラ原料 (PET)



アルミ



適正処理

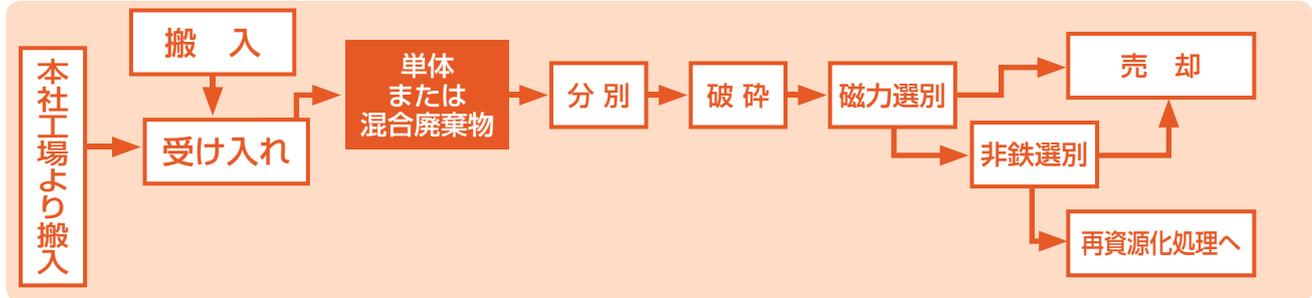
マテリアルリサイクル及びサーマルリサイクル向けの原料化を可能な限り促進し、リサイクル率の向上と適正処理を実現しております。

(例 プラスチックフレーク、プラスチック燃料、木くずチップ、銅系再生合金原料、電線ナゲット銅、再生銅原料、紙原料、カレットなど)

千葉工場リサイクルフロー

千葉工場のリサイクルフローでは、破碎と選別工程に最新鋭の設備を導入しております。破碎には1千馬力のシュレッダーを導入し、シュレッダーで破碎した後は、磁選機・カラー選別機・手選別により、鉄・各非鉄・その他に選別し、後工程の圧縮梱包 / 適正処理の工程に移ります。

千葉工場



搬入／受け入れ
収集運搬は、可能エリア内でしたら、東港金属・トライマテリアルの車両で行なうことも可能です。搬入の際に台貫にて重さを量ります。

工場棟／台貫

分別
シュレッダーにかける前に、重機を使用して廃棄物の分別を行なっています。

重機類

シュレッダーへの投入

破碎（シュレッダー）

選別（ドラム型磁力選別機）

非鉄選別（渦電流選別機） **非鉄選別（カラーセンサー金属選別機）** **手選別**

千葉工場で出来ること

大型機械破碎、大量処理が可能です。
1000馬力の最新鋭ドイツ製シュレッダー本体の導入により、時間当たり30トンの処理が可能です。自動車サイズまで投入可能な大型シュレッダーですので、リサイクルの幅を広げられます。

船積みでの出荷が可能です。
敷地面積12,600坪のリサイクル工場としては大型ヤードを擁し、保管能力が高い上に、港湾部に近く（工場から約700mの位置にある富津港もリサイクルポート指定、従来の船積み港である木更津港も近く）船積み出荷が可能になります。

環境に配慮した屋内設置プラントです。
シュレッダー本体を屋内に設置し、ハイブリッド型集塵機の採用など地域社会や工場運営上の環境に配慮したプラントになっています。

重量物の荷卸・積み込みが可能です。
25トンラフタークレーンを有し、重量物のハンドリングが出来ます。

適正処理

プラスチックフレーク、プラスチックペール、銅系再生合金、電線ナゲット銅、再生銅原料、木くずチップ、古紙原料、カレット、プラスチック燃料など、可能な限り再生原料化（マテリアルリサイクル）と、再生燃料化（サーマルリサイクル）を実現。

鉄

粉末や粒状物はフレコン梱包

銅

ステンレス

KSS 基板

モーターコア

ミックスメタル

真鍮

教育・コミュニケーション

Member's Voice 次へのステップに向けて

本社工場 工場長
ラハモン・メハラッデ

本社工場での運営・管理は、限られた敷地の中で、安全性を優先しながら、高い作業効率を保つことが重要です。また、お客様が、スムーズに荷物の積み下ろしが出来るように、構内を整理整頓することも、大切であるとして社員への指導に心がけています。これらが延いては、環境影響への負担を減らすことだと思っております。



千葉工場 工場長
糸井 剛

千葉工場は、大型シュレッダーを中心とした工場ですので、シュレッダーの稼働率を高く保ち、作業効率を上げることが、工場の電気等エネルギー消費量を減らすこととなります。常に稼働率を上げることを意識して作業指導をしております。



天童支店 支店長
結城 孝智

購入製品の梱包材は整頓保管していますが、まとまり次第返送することで、仕事場の周りを整然とさせ、アクシデント防止に心がけています。寒冷地なので、冬場の暖房についてもルールを決めて、できるだけエネルギー消費量の削減を目指してゆきます。



営業部管理一課
伊東 寿子

窓口に来られるお客様を明るい雰囲気でお迎えし、スムーズな受付対応を心がけています。また、多忙な社員の間みんなが良い気持ちで仕事ができるよう、笑顔の職場作りを目指しています。



110⁺
Anniversary since 1902

営業部営業三課
福島 尚美

産廃処理、金属リサイクルという仕事に携わって、日ごろ目にするゴミへの見方が変わったと思います。日々の業務でも、できるだけ廃棄される荷物を削減できるよう取り組んでおります。廃棄物を資源化する仕事に誇りを持って、担当業務を推進して行きます。



総務・人事課
佐々木 豪

所属が総務・人事課で、社内でもコピーの使用量が多い部署なので、会社の環境方針重点テーマにある、資源の有効活用のためのコピー用紙使用量の削減を、常に意識して仕事をしています。個人的には通勤に使用しているバイクのアイドリング防止機能を活用し、環境汚染予防を心がけています。



営業部営業二課
劉 昕

営業としてお客様と接する時には、廃棄物処理法の決まりや、資源リサイクルが大事であることなどをお話しております。営業努力で都市鉱山からの再生資源を多く集めることにより、地下資源の消費が節約できて、次の世代に良い環境が残せるように頑張りたいと思っております。



東北トライメタルズ
中田 真由美

紙の使用量削減のため、印刷ミス等の用紙はメモ紙に活用しています。ヤード内では作業担当者が変わったこともあり、今まで重機で動かしていた資材で、軽薄短小のものは手作業に変更しました。仕事の効率もよくなり、重機の燃料節約にもなっております。これからも作業の改善に努めます。



環境教育

従業員全体を対象とし環境教育と、安全衛生を自ら管理し、お互いに気持ちよく安心して仕事ができるための「安全衛生委員会」を含めた「職場安全衛生環境会議」を2ヶ月に1回の割合で定期的に開催し、問題の掘り起こしと対策を講じることで皆が同じ意識を共有できるようにしております。



地域美化活動

地域の環境保全を維持し、近隣の皆様、来社されるお客様が気持ちよく来社していただけるよう、毎朝、周辺道路及び入口通路の美化清掃を行っています。



優良従事者表彰

ラハモン・メヘラッデ本社工場長が受賞しました。



東京産業廃棄物協会より平成 25 年度の優良従事者として、多年に亘り産業廃棄物の処理に精励し業界の発展に寄与するところが多大であるとして表彰されました。

「羅針盤」発行

産業廃棄物処理業界の相場状況及び改正された法律の内容紹介などの参考情報や東港金属のトピックスを「羅針盤」というニュース紙として毎月発行しています。この情報はそのままホームページにも掲載中です。



東港金属は、公益財団法人 日本自転車競技連盟（JCF）のオフィシャルスポンサーです。

自転車に乗った人間が移動時に使うエネルギーは、徒歩の5分の1という定説があるそうです。このエネルギー源はもちろん人力です。

こんなに環境にやさしい乗り物（自転車）による競技は、そのスピード感が観る者の心を躍らせます。東港金属は環境関連企業として、自転車競技に参加する選手の皆様に応援しております。

応援用の横断幕

東港金属



東港金属は自転車競技 日本ナショナルチームを応援しています!

環境への取り組み

特定フロン回収をしています

当社は、東京都の第一種フロン回収業者として登録をし、搬入された業務用のエアコンや冷蔵庫の中に入っている冷媒用フロンを適正に回収し、破壊処理業者に引き渡しております。大気中に放出されるとオゾン層破壊や地球温暖化などを起こす一因となるフロンを正しく処理することで、フロン回収・破壊法に対応して参ります。



グリーン購入から環境配慮

社内の物品調達については、共有使用できるものや、リユースできるものの再使用をすすめ、品質や価格だけでなく、グリーン購入の考えに則した環境負荷低減に資する製品を積極的に使用することとしております。



防災訓練

安全がすべての作業に優先しますので、毎日の朝礼で意識づけをしております。特に地震、火災等緊急時対応に備えて、本社工場、千葉工場共に初期消火活動、応急救護を含めた防災訓練を毎月実施しています。



資格取得を推奨しています（業務知識取得を安全作業のために）

従業員が其々の担当業務をこなしていく上で必要な知識や技能習得のために、資格取得を推奨しております。

主な社員資格一覧表

2013年10月15日現在

資格名	人数	資格名	人数	資格名	人数
破碎・リサイクル施設技術管理士	3	衛生管理者	1	はい作業主任技能講習	2
産廃又は特管物処理業の許可申請に関する講習会	1	酸素欠乏危険作業主任者	1	大型特殊免許	3
産廃又は特管物収集運搬業の許可申請に関する講習会	4	有機溶剤作業主任者	1	けん引免許	2
産業廃棄物処理業講習会	5	救命技能認定	3	大型自動車免許	12
公害防止管理者（大気1種）	1	普通救命講習	1	中型自動車運転免許	89
公害防止管理者（水質1種）	1	玉掛講習	30	大型自動二輪車免許	2
ISO 14001 内部監査員	4	土止め支保工作業主任者	2	普通自動二輪車免許	9
ISO 27001 内部監査員	2	酸素欠乏危険作業主任者	2	自動車整備士	2
冷媒回収技能者	3	特定化学物質作業主任者	2	地山掘削作業主任者	1
防火管理者	2	フォークリフト運転技能講習	48	第二種電気工事士	1
運行管理者（補助含）	1	車両系建設機械運転技能講習	29	プレス機械作業主任	1
整備管理者	1	クレーン運転特別教育（5t未満）	15	ダイオキシン類作業従事者特別教育	1
危険物取扱者	3	ガス溶接技能講習	15	インストラクター	1
PCB 廃棄物の収集運搬業従事者講習会	1	小型移動式クレーン	10	ゴンドラ取扱	1
安全衛生推進者	2	移動式クレーン	1	二級土木施工管理技士	1
		床上操作クレーン技能講習	5	基本情報技術者	1
		アーク溶接	11	安全管理者	1
		高所作業車運転	3	高所作業車運転技能講習	2

環境調査

当社は環境方針に則り、事業活動、製品及びサービスに関わる環境側面を常に認識し、汚染の予防に努めるため、本社工場と千葉工場で、業務に伴って発生する騒音・振動・悪臭・粉じんと、構内から排出される雨水中の含有物質を自主的に測定しております。下記に示すように今事業期の測定では自主基準値内でした。今後とも環境保全水準の向上を図るために小さな問題点も見逃さず処置対応をして、周辺環境の保全に努めてまいります。環境調査結果概要版はホームページに公開いたしております。



東港金属株式会社環境調査結果（騒音・振動・悪臭・粉じん・雨水）

調査実施機関：株式会社環境総合研究所【計量証明登録 濃度第 592 号、音第 7 号、振動 1 号】

調査期日

本社工場：2013 年 5 月 8 日 千葉工場：2013 年 5 月 9 日

調査方法：当該地域を規制する条例等の調査方法を採用（詳細はホームページを参照ください）

規制基準値：参考と示された値は、当該地域での基準が無いため参考となる区域の値を参考として示したものです。

調査結果：適否の欄の記号は次のとおり。 ○：規制基準を満足 ×：規制基準を超過

1. 騒音レベル調査結果

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果（騒音レベル）	適否	規制基準	騒音測定時の状況
本社工場	敷地境界（東）	9:20～9:30	67db	○	70db（参考）	工場内の稼働音
千葉工場	敷地境界（南）	9:00～9:10	63db	○	70db	工場内の稼働音

2. 振動レベル

調査場所	調査位置	調査時間	調査結果（振動レベル）	適否	規制基準	騒音測定時の状況
本社工場	敷地境界（東）	9:20～9:30	46db	○	65db（参考）	工場稼働
千葉工場	敷地境界（南）	9:00～9:10	46db	○	65db	工場稼働

3. 悪臭

調査場所	調査位置	採取時間	調査結果（臭気指数）	適否	規制基準
本社工場	敷地境界（東）	10:25	< 10	○	13
	敷地境界（北）	10:45	< 10		
千葉工場	敷地境界（北）	9:28	< 10	○	-
	敷地境界（南）	9:20	11		

注）千葉工場：富津市は臭気物質規制であり、臭気指数規制値はまだ規定されていない。

4. 粉じん

調査場所	調査位置	採取時間	調査結果（臭気指数）	適否	規制基準
本社工場	敷地境界（東）	8:50～12:50	0.183 mg / m ³	○	0.2 mg / m ³ （参考）
千葉工場	敷地境界（南）	9:00～13:00	0.050 mg / m ³	○	0.2 mg / m ³ （参考）

注）施設から発生する粉じん濃度には規制値は存在しないため、参考までに一般地域に適用される環境基準（浮遊状物質の時間最大値 0.2 mg / m³）と比較した。

5. 雨水排水

本社は 2013 年 5 月 8 日、千葉工場は同年 5 月 9 日に「下水の水質の検定方法等に関する省令（昭和 37 年厚・建令 1）」に基づき、下記 43 項目について調査を実施。全ての項目で下水道基準値を満足しておりました。

調査項目：

カドミウム、全シアン、有機燐、鉛、六価クロム、ヒ素、総水銀、アルキル水銀、PCB、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、ジクロロメタン、四塩化炭素、1,2-ジクロロエタン、1,1-ジクロロエチレン、シス-1,2-ジクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、1,1,2-トリクロロエタン、1,3-ジクロロプロペン、チウラム、シマジン、チオベンカルブ、ベンゼン、セレン、ホウ素、フッ素、全クロム、銅、亜鉛、フェノール、溶解性鉄、溶解性マンガン、BOD、SS、n-ヘキサン（鉱油）、n-ヘキサン（動植物油）、全窒素、全リン、水素イオン濃度（pH）、温度、沃素消費量、硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素、アンモニウム性窒素

協力会社の活動

トライマテリアル株式会社



山本社長

トライマテリアル株式会社は、東港金属関連の輸送業務及び産業廃棄物の収集運搬を請け負う協力会社として平成18年に創業し、今年は8年目となりました。搬入先の東港金属が都心にある産業廃棄物の中間処理場ですので、お客様の収集希望時間も多様なため、24時間の対応も可能としております。収運業は、常に交通事故の危険性と隣り合わせの業務でありますことから、お客様から委託された産業廃棄物を「安全第一、確実に運ぶこと」を社として業務を推進しております。日々の運行管理は、CO₂排出削減の方策、過重、過載、作業時間の無理が無いように、道交法違反についても研修会、朝礼等で啓発しております。

また、本誌6頁にあります東京都の第三者評価制度で、2011年12月に、業界の中核的役割を担う優良業者としての基準に適合しているとして、「産廃エキスパート」（第一種評価基準適合業者）の評価認定を頂きました。今後もお客様のお役に立つ会社として事業を進めて参ります。



■会社概要

社名 トライマテリアル株式会社
 代表者 代表取締役社長 山本 兼嗣
 設立 2006年(平成18年)1月
 資本金 1,000万円
 従業員数 21名(2013年6月16日現在)
 年商 約2.5億円(2012年12月期)
 事業所 本社
 東京都大田区京浜島2-19-10
 東京営業所
 東京都品川区南大井6-17-17 FINEビル2F
 <http://www.trimaterial.co.jp/>
 主な取引先 東港金属株式会社

安全運動功労者等表彰を受けました。

平成25年 春の交通安全運動功労者等表彰式が、平成25年6月10日(月)に、大森警察署4階講堂において開催されました。日頃から、交通安全や犯罪抑止に協力する方々が、表彰の対象となりました。トライマテリアル株式会社の金城孝幸さんが永年に亘る安全運転者として表彰されました。



■沿革

2006年(平成18年)
 1月 東京都中央区に一般貨物自動車運送事業、産業廃棄物収集運搬業及び特定労働者派遣事業を目的として設立
 東京都大田区京浜島に東京営業所を設立
 3月 特定労働者派遣事業許可
 6月 一般貨物自動車運送事業許可
 7月 各地の産業廃棄物収集運搬業許可取得開始

2008年(平成20年)
 3月 東京都港区に本社移転

2009年(平成21年)
 7月 ISO14001 本社営業所で認証取得
 (東港金属株式会社と合同認証)

2010年(平成22年)
 2月 東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃プロフェッショナル」の認定取得

2011年(平成23年)
 12月 東京都の優良性基準適合認定制度で「産廃エキスパート」の認定取得

2012年(平成24年)
 3月 東京都及び千葉県で特別管理産業廃棄物収集運搬の優良認定取得
 11月 東京都大田区に本社移転

■主な社員資格一覧表

平成 25 年 6 月末日現在

資格区分	人数
産廃又は特管物収集運搬業の許可申請に関する講習会	1
安全管理者	1
大型特殊免許	1
大型自動車免許	21
中型自動車運転免許	23
けん引免許	7
運行管理者(補助含)	4
フォークリフト運転技能講習	18
クレーン運転特別教育(5t未満)	11
玉掛講習	11
車両系建設機械運転技能講習	9
石綿使用建築物等解体等業務特別教育	1
不整地運搬車運転技能講習	1
足場の組立て等作業主任者	1
ISO14001 内部監査員	1
大型自動二輪車免許	4
普通自動二輪車免許	8
ガス溶接技能講習	3
危険物取扱者	3
職長教育	2
高所作業車運転	2
床上操作クレーン技能講習	2
小型移動式クレーン	1
救命技能認定	1
整備管理者	1
アーク溶接	1

東北トライメタルズ株式会社

平成23年11月24日 宮城県名取市に、非鉄金属製品及びスクラップ取扱い会社として設立されました。その年に発生した東日本大震災の被災地を見舞い、お客様(処分場)の惨状を目の当たりにして、復興に向けて何か協力できることはないかという思いもあり、仙台市の郊外を拠点としました。まだ創立2年ですが、隣県の東港金属天童支店とも相互協力しながらお客様に周知していただく努力をしています。

■会社概要

社名 東北トライメタルズ株式会社
 代表者 代表取締役 青木 秀夫
 設立 2011年(平成23)11月24日
 従業員数 5名(兼務者含む)(2013年10月1日現在)
 事業所 宮城県名取市愛島笠島字東南沢93-1
 取引先 東港金属株式会社

トライメタルズ株式会社

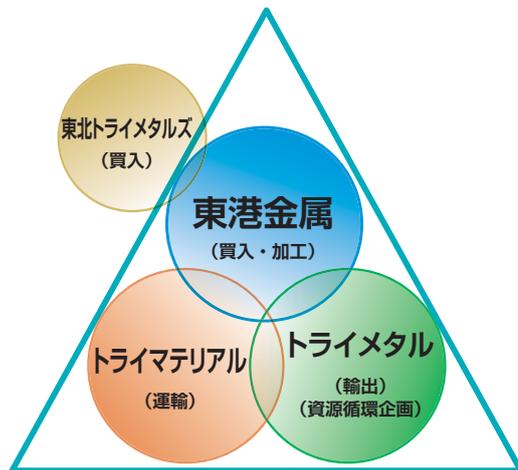
非鉄金属製品及びスクラップの販売及び輸出入を目的として設立
 東南アジアをターゲットにして、事業展開と産学協同研究を含む資源循環の企画・研究を進めております。

■会社概要

社名 トライメタルズ株式会社
 代表者 代表取締役社長 福田 隆
 設立 2007年(平成19年)3月26日
 従業員数 9名(兼務者含む)(2013年10月1日現在)
 年商 約800万円(2013年6月期)
 本社 東京都大田区京浜島2-20-4
 東京営業所 東京都品川区南大井6-17-17 FINEビル2F
<http://www.trimetals.co.jp/>
 取引先 東港金属株式会社

協力会社相関図

Trinity体制での運営



■協力会社事業所ロケーション

東北トライメタルズ株式会社
 本社: 〒981-1238
 宮城県名取市愛島笠島字東南沢 93-1
 TEL&FAX: 022-383-3190 (代)

トライマテリアル株式会社
 東京事務所:
 〒140-0013 東京都品川区南大井 6-17-17 FINE ビル 2F
 TEL: 03-5767-8867 (代) FAX: 03-5767-8870

トライメタルズ株式会社
 東京事務所:
 〒140-0013 東京都品川区南大井 6-17-17 FINE ビル 2F
 TEL: 03-5767-8866 (代) FAX: 03-5767-8870

トライマテリアル株式会社
 本社:
 〒143-0003 東京都大田区京浜島 2-19-10
 TEL: 03-3790-2882 (代) FAX: 03-3790-1755

トライメタルズ株式会社
 本社:
 〒143-0003 東京都大田区京浜島 2-20-4
 TEL: 03-3790-1751 (代) FAX: 03-3790-1755

法のおよびその他の要求事項

環境及び情報セキュリティの法規制で当社及びトライマテリアル株式会社に係る主なものは以下の通りです。第67期で行政より指導・勧告を受けたものはありませんでした。

環境関連

環境側面	法、条例、等	要求事項(当社該当主要項目のみ)	主な該当施設等	主な該当部署	必用資格
自動車運行	道路交通法 NOx・PM法	①自動車免許、速度制限、積載制限 ①規制対応車種 ②PM減少装置の取り付け	運搬車輛・自家用車 —	運輸部門・営業部門 運輸部門	大型・普通免許 —
【業】 *廃棄物の受入 *収集運搬及び処分業	金属屑、廃プラスチック、ガラス・コンクリート・陶磁器類、繊維屑、木屑、紙屑、他	①廃棄物再生業/廃棄物の収集運搬及び処分業の許可 ②廃棄物の保管施設への掲示板の設置 ③委託基準の順守 ④マニフェストの使用及び返却等の管理 ⑤廃棄物処理責任者の設置 ⑥二社契約許可番号、事業の範囲、有効期限、処理能力、重量、単価等の記載 ⑦産廃最終処分業者の処分場視察 ⑧環境に不可を与えない施設の維持管理 ⑨資源化を推進し、最終処分量の削減 ⑩地域住民との協調	業として被処理物の受け入れ	全体	収集運搬業 中間処理業 古物商
【事業者】 廃棄物の排出	産業廃棄物の排出	産廃最終処分業者の処分場視察 環境に不可を与えない施設の維持管理 資源化を推進し、最終処分量の削減 地域住民との協調	業務全般からの排出	—	—
【事業者】 廃家電等電気製品の排出	特定家庭用機器廃棄物、パソコン他	家電リサイクル法 改正リサイクル法	—	事務部門	—
トラックスケールの使用	トラックスケール	計量法	トラックスケール台貫計量誤差検定 1回/2年 検査	トラックスケール (20t-40t-50t)	生産部門 —
火災の発生	指定可燃物	消防法	指定可燃物貯蔵量調査	工場棟及び 工場内設備	生産部門 —
フロン類の回収	業務用空調機、業務用冷蔵庫からフロン回収	フロン回収破壊法 改正フロン回収破壊法	東京都知事による登録 適正回収、行程管理制度、引取証明書の交付	フロン回収 設備等	生産部門 営業部門 第一種フロン類 回収業者登録
材料およびエネルギーの使用を物品の購入時に考慮	物品の購入	グリーン購入法	グリーン調達を推進し、環境に与える負荷を軽減する	事務所	事務部門 —

情報セキュリティ関連

関連分野	法令の名称	主な参考条項
情報保護に関する法令	日本国憲法	第21条 2 集会、結社及び言論、出版その他一切の表現の自由は、これを保障する。 検閲は、これをしてはならない。 通信の秘密は、これを侵してはならない。
コンピュータ犯罪に関する法令	個人情報保護に関する法律	全般
	刑法	第7条の2 電磁的記録の定義 第157条第1項 電磁的公正証書原本不実記録罪 第158条第1項 不実記録電磁的公正証書原本共用罪 第161条の2 電磁的記録不正作出・不正作出電磁的記録供用罪 第234条の2 電子計算機損壊等業務妨害罪 第246条の2 電子計算機使用詐欺罪 第258条 公用電磁記録毀棄罪 第259条 私人電磁記録毀棄罪
	不正アクセス行為の禁止に関する法律	全般
	労働基準法 労働者派遣法	第91条 制裁規定の制限 第24条の4 秘密を守る義務
知的財産権に関する法令	著作権法	第2条 定義 第10条 著作物の例示 第12条の2 データベースの著作物 第20条 同一性保持権 第47条の2 プログラムの著作物の複製物の所有者による複製等 第76条の2 創作年月日の登録 第113条 侵害とみなす行為
	特許法	全般
	意匠法	全般
	不正競争防止法	全般
	知的財産基本法	第8条 事業者の責務
その他	特定電子メールの送信の適正化等に関する法律 外国為替及び外国貿易法	全般 全般

環境会計

当社としての環境会計の算出方法を模索しておりますが、当社の本業が環境活動そのものであるため、平成12年3月の環境庁「環境会計システムの確立に向けて(2000年3月)」に記載されておりますように、環境保全コストの把握に関しては今後の課題とさせていただきます。

<参考>

「本業として環境ビジネス(公害防止装置の製造、環境コンサルタント、廃棄物処理・リサイクル事業等)に取り組む場合の環境保全コストの把握(測定)に関しては、困難な問題が多く残されていますが、原則として、本業として取り組む環境ビジネスに関するコストは環境保全コストには含まれないと考えられます。ただし、企業等において独自の算出方法を考案されている場合は、その方法を明示した上で、把握(測定)・公表することを妨げるものではありません。この問題については今後の課題とさせていただきます。」

平成12年3月環境庁環境会計システムの確立に関する検討会「環境会計システムの確立に向けて(2000年3月)」より抜粋

ガイドライン対照表

環境報告書ガイドライン 2013 年版

掲載ページ

【環境報告の基本的事項】	
1. 報告にあたっての基本的要件	
(1) 対象組織の範囲・対象期間	2
(2) 対象範囲の捕捉率と対象期間の差異	2
(3) 報告方針	2
(4) 公表媒体の方針等	2
2. 経営責任者の諸言	1
3. 環境報告の概要	
(1) 環境配慮経営等の概要	1.7
(2) KPI の時形列一覧	3.8.9.10
(3) 個別の環境課題に関する対応統括	7.8.9.10.11.16.17.18
4. マテリアルバランス	8
【「環境マネジメント等の環境配慮経営に関する状況」を表す情報・指標】	
1. 環境配慮の方針、ビジョン及び事業戦略等	
(1) 環境配慮の方針	7
(2) 重要な課題、ビジョン及び事業戦略等	7.9
2. 組織体制及びガバナンスの状況	
(1) 環境配慮経営の組織体制等	11
(2) 環境リスクマネジメント体制	11
(3) 環境に関する規制等の遵守状況	21
3. ステークホルダーへの対応の状況	
(1) ステークホルダーへの対応	1.15.16
(2) 環境に関する社会貢献活動等	1.16
4. バリューチェーンにおける環境配慮等の取組状況	
(1) バリューチェーンにおける環境配慮の取組方針、戦略等	7.9.19.20
(2) グリーン購入・調達	17
(3) 環境負荷低減に資する製品・サービス等	13.14
(4) 環境関連の新技术・研究開発	13.14
(5) 環境に配慮した輸送	7.8.9.10.19.20
(6) 環境に配慮した資源・不動産開発／投資等	1.8.13.14.17.18
(7) 環境に配慮した廃棄物処理／リサイクル	1.3.8.13.14.17.18
【「事業活動に伴う環境負荷及び環境配慮等の取組に関する状況」を表す情報・指標】	
各記載項目の共通事項	7.8.9.10.21
1. 資源・エネルギーの投入の状況	
(1) 総エネルギー投入量及びその低減対策	8.9.10
(2) 総物質投入量及びその低減対策	8.9.10
(3) 水資源投入量及びその低減対策	8.10
2. 資源等の循環的利用の状況（事業エリア内）	8.9.10
3. 生産物・環境負荷の産出・排出等の状況	
(1) 総製品生産量又は総商品販売量等	3.8
(2) 温室効果ガスの排出量及びその低減対策	8.9.10
(3) 総排水量及びその低減対策	8.10
(4) 大気汚染、生産環境に係る負荷量及びその低減対策	8.9.10.17.18
(5) 化学物質の排出量、移動量及びその低減対策	8.17
(6) 廃棄物等総排出量、廃棄物最終処分量及びその低減対策	3.8.9.10
(7) 有害物質等の漏出量及びその防止対策	17.18
4. 生物多様性の保全と生物資源の持続可能な利用の状況	—
【「環境配慮経営の経済・社会的側面に関する状況」を表す情報・指標】	
1. 環境配慮経営の経済的側面に関する状況	
(1) 事業者における経済的側面の状況	21
(2) 社会における経済的側面の状況	21
2. 環境配慮経営の社会的側面に関する状況	1.16
【その他の記載事項等】	
1. 後発事象等	
(1) 後発事象	3
(2) 臨時的事象	—
2. 環境情報の第三者審査等	—

Toko Metal
Multi Material Recycler

